

5月6日：VN 指数は反落、2週間ぶりの安値に

VN 指数は 2.31%安の 1,329.26 ポイントで取引を終え、2週間ぶりの安値となった。米国の金利上昇期待からの世界的な株安の流れを引き継いだ形となった。

VN 指数は前日に買い戻しの動きが見られたが、本日は終日軟調な値動きとなった。

ロイター通信によると、さらなる米国金利の上昇への期待から、ドル指数は 20 年ぶりの高水準となり、世界の株式市場は 1 年以上ぶりの安値をつけた。その一方で、中国のゼロコロナ政策が経済成長を阻害するとの懸念からアジア市場は下落した。

VN 30 指数は採用銘柄のうち 28 銘柄が下落した。そのうち SSI 証券は-6.9%と、この日ストップ安をつけた。

同指数は 11 ヶ月ぶりの安値をつけており、昨年 11 月の高値から 52%ほど下落している。

サコムバンク (STB) は 5.2%安の 6 ヶ月ぶりの安値、ベトナムゴム工業グループは 5%安と 11 ヶ月ぶりの安値をつけた。

ペトロベトナムガス (GAS) は 0.4%高と、VN30 指数の中で唯一上昇した。

外国人投資家は合わせて 670 億ドンを売り越した。特にベトコムバンク (VCB)、キンバックシティグループ (KBC) に外国人投資家の売りが集まった。

ハノイ市場の HNX 指数は 4.26%安、UPCoM 指数は 1.87%安とともに下落した。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI)から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。